

## 0. ガイダンス

### 0-1 講義概要

本講義では環境経済学の考え方の基本を学びます。前半は環境経済学の主要な理論を理解し、次に近年の環境問題を例に理論の理解を深め、授業の後半では環境評価の手法について解説する。

到達目標；環境問題を理解するための知識と理論的な枠組みを理解し、環境政策について考察できるようになること。

### 0-2 講義内容

下記内容を予定している。確実に理解してもらうために内容を厳選した。

- 1回 ガイダンス、ミクロ経済学の復習1（需要と供給）
- 2回 ミクロ経済学の復習2（需要と供給、市場均衡）
- 3回 ミクロ経済学の復習3（市場均衡の変化、余剰分析、価格規制）
- 4回 ミクロ経済学の復習4（政策分析）
- 5回 環境問題と外部性1（外部性とは、外部性の例）
- 6回 環境問題と外部性2（外部性と社会的費用）
- 7回 外部性と交渉（コースの定理）
- 8回 外部性と環境税1（ピグー税）
- 9回 外部性と環境税2（ボーモル・オーツ税）
- 10回 外部性と市場の活用（排出権取引）
- 11回 環境問題と外部性（まとめ、質問受付、復習）
- 12回 住環境と公共財
- 13回 住環境の価値をはかる1（アンケート調査による便益計測）
- 14回 住環境の価値をはかる2（地価による便益計測）
- 15回 期末試験対策、質問うけつけ

### 0-3 教科書・参考文献

特定の教科書は使わずに、レジュメを用いて講義を行う。レジュメを加筆・修正して教科書として出版する予定なので、内容に関するコメントは大歓迎する。参考文献は、以下の2冊を挙げておく。他の参考文献について知りたい場合は、担当教員に質問してほしい。

- (1) 日引聰・有村俊秀「入門環境経済学：環境問題へのアプローチ」中公新書
- (2) 大野栄治「環境経済評価の実務」勁草書房

### 0-4 成績評価の方法

以下の2つを合わせて評価する。**講義回数の2/3 (=10回) 以上の出席をしないものは、期末試験の受験を認めない。**

- (1) 講義中の**小テスト**の成績（**60%**）。毎回の講義の最後に、講義内容の復習を兼ねて小テストを行う。各回の得点率の平均を評価する。欠席した回は当然ゼロ点としてカウントする。
- (2) **期末試験（40%）。** 単位取得を目指すものは、必ず期末試験を受験すること。

## 0-5 その他注意事項

(1) 予習について :

- 次回の講義用レジュメを以下の web ページからダウンロード・印刷して、ざっと目を通しておくこと.
- Web の URL ; <http://ft.jpn.org/index.php?enveco>  
不動産学部のページ (<http://meikai-re.jp/>) からたどっていくこともできる. このページはマメにチェックするようにしよう.
- **印刷したレジュメを次回講義に必ず持参すること. こちらでは印刷・配布はしません.**
- 自宅にパソコンがない学生は、メディアセンターを利用すること.
- ダウンロードの仕方がわからない場合は、友人にコピーさせてもらうこと.

(2) 復習について : 講義ノートを読み返して、練習問題でミスしたところを再度解いてみること.

(3) 講義中の私語は厳禁. 周囲の学生に迷惑. ひどい場合は減点する. 出席しない場合よりも成績評価が低くなるので注意.

(4) 小テストは最終成績に反映されるので、カンニング等の不正行為は厳禁. 不正行為をした場合、この科目の最終評価を不合格とする. **期末試験同様、1人分空けて着席すること.**

(5) <不動産学部共通ルールへの対応>

**講義の流れを止めないことを原則とする.**

- 講義開始後 10 分経過以降の入室は、成績を通常の半分としてカウントする. 遅延証明書等については、**講義後**申し出ること.
- 飲食及び携帯電話その他の電子機器の使用を禁止する.
- トイレなどの理由で一時退室を希望する場合は、学生証と携帯を教員に預けてから一時退室を認める  
⇒箱を用意しますので、そこに入れてそっと退室してください.